

京都成章

同窓会報第4号発刊に寄せて

同窓会会長 田中英之

春の兆しも見え始める今日このごろ、同窓生の皆様にはそれぞれの立場でお元気にご活躍のこととお慶び申し上げますとともに、同窓会に対しまして常日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。また昨秋の台風により京都市内・亀岡・南丹はじめ府内で甚大な被害が発生いたしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて母校も一年一年着実に歴史を積み重ね、それに伴い同窓会員も年を



追う毎に多くなつて参ります。私も第一期卒業生として母校の歴史に名を残し、現在は同窓会長を預かっておりますが、歴史ある他の高校が強い一因には同窓生を社会に何名輩出できているかに依るところも大きいと存じます。学生や社会人として、それぞれの立場で自

らの夢を叶えるために活躍される同窓生がもつともっと多くなることで、母校もまた発展されますことを心から期待しております。

同窓会は同窓生の親睦交流の場です。是非とも積極的に参画していただき、同窓生みんなの同窓会であり続けられるようにお力添えを賜りますことをお願いし、同窓会報に寄せるご挨拶と致します。

発行元

京都成章高校同窓会
京都市西京区大枝沓掛町26
TEL:075-332-4830
FAX:075-331-0827

卒業生の皆様へ

校長 吉竹 浩克

卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

成章高校には今春ついに29期生が入学してきます。男子校から男女共学になった学年が18期生です。ので、共学になってから10年が過ぎることになります。私は校長になって4年が過ぎ、もう歳も四捨五入すると50、そして須永先生はついにこの3月、60歳で定年、時の流れの速さを感じずにはいられない今日この頃です。

しかし他方では、この京都成章高校で教員・職員・コーチとして働いてくれる卒業生が年々増えていきます。自分たちが受けた教育を自分たちの後輩に、自分たちが大学に行けたように後輩たちも大学に、そんな思いで日々遅くまで卒業生達が後輩達への指導に没頭しています。そして来春からはついに女子の卒業生が教員として本校の教壇に立つことになっていきます。

人は古い、そしていつか去る日がくるということは自明の事ですが、若い卒業生がこの成章高校を慕い、奉職し、そして成章高校の伝統を受け継ぎ、更に発展させてくれることが、新設校だった成章高校をここまで育ててきた教員たちの「夢」でもあり、それが成章の永遠不滅な生命力の源でもあると思います。

いま卒業生の皆さんは、様々な分野で活躍されていることと思います。皆さんの先輩、同級生、後輩たちが、更にすばらしい学校にすべく奮闘しているこの成章高校を今後いろいろな方面から応援してくださいと幸いです。

